

2020年度決算 説明資料



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス

1. 2020年度 決算実績
2. 広島ガスグループ2030年ビジョン
3. 広島ガスグループ中期経営計画
4. トピックス

1. 2020年度 決算実績

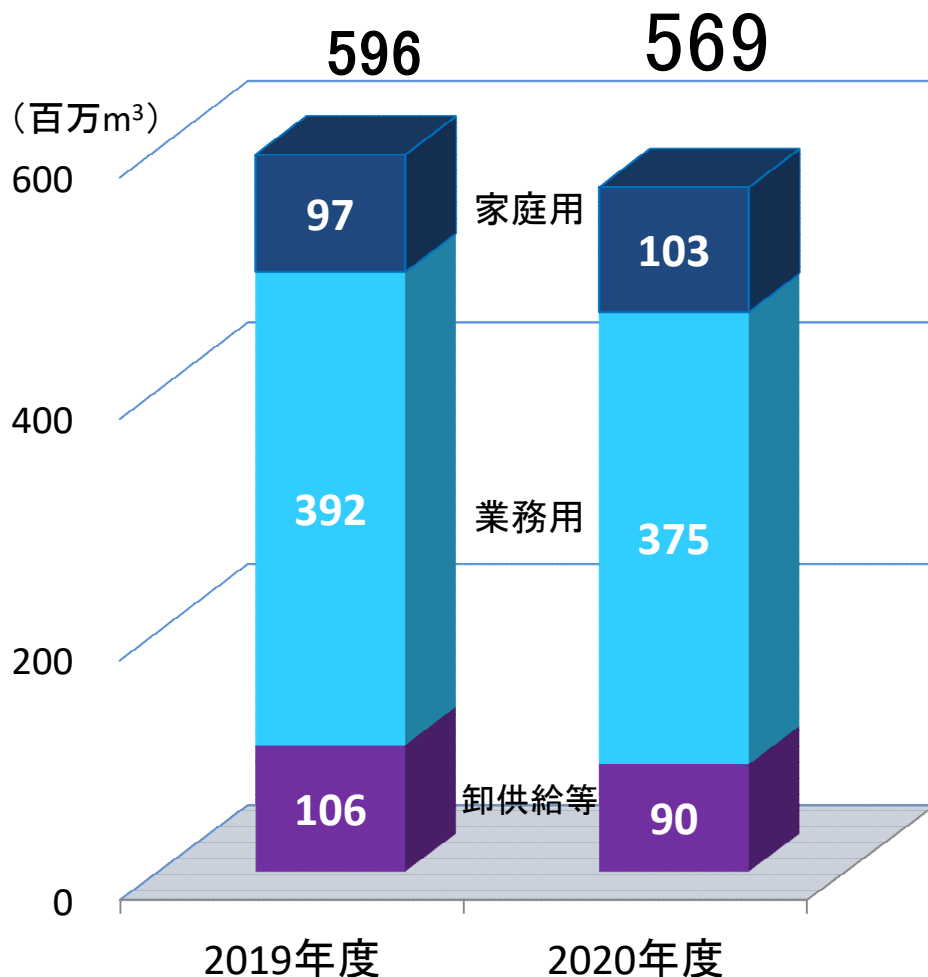


- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 2020年度 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況
- (5) 2021年度 業績見通し
- (6) 株主還元方針

(1) 都市ガス販売量実績



■ 都市ガス販売量 △ 26百万m³(△4.4%)



■ 家庭用 +6百万m³(+6.9%)

・低水温、低気温の影響等

■ 業務用 △16百万m³(△4.3%)

・飲食店・ホテル等の稼働減、
工場の操業縮小の影響等

■ 卸供給等 △16百万m³(△15.3%)

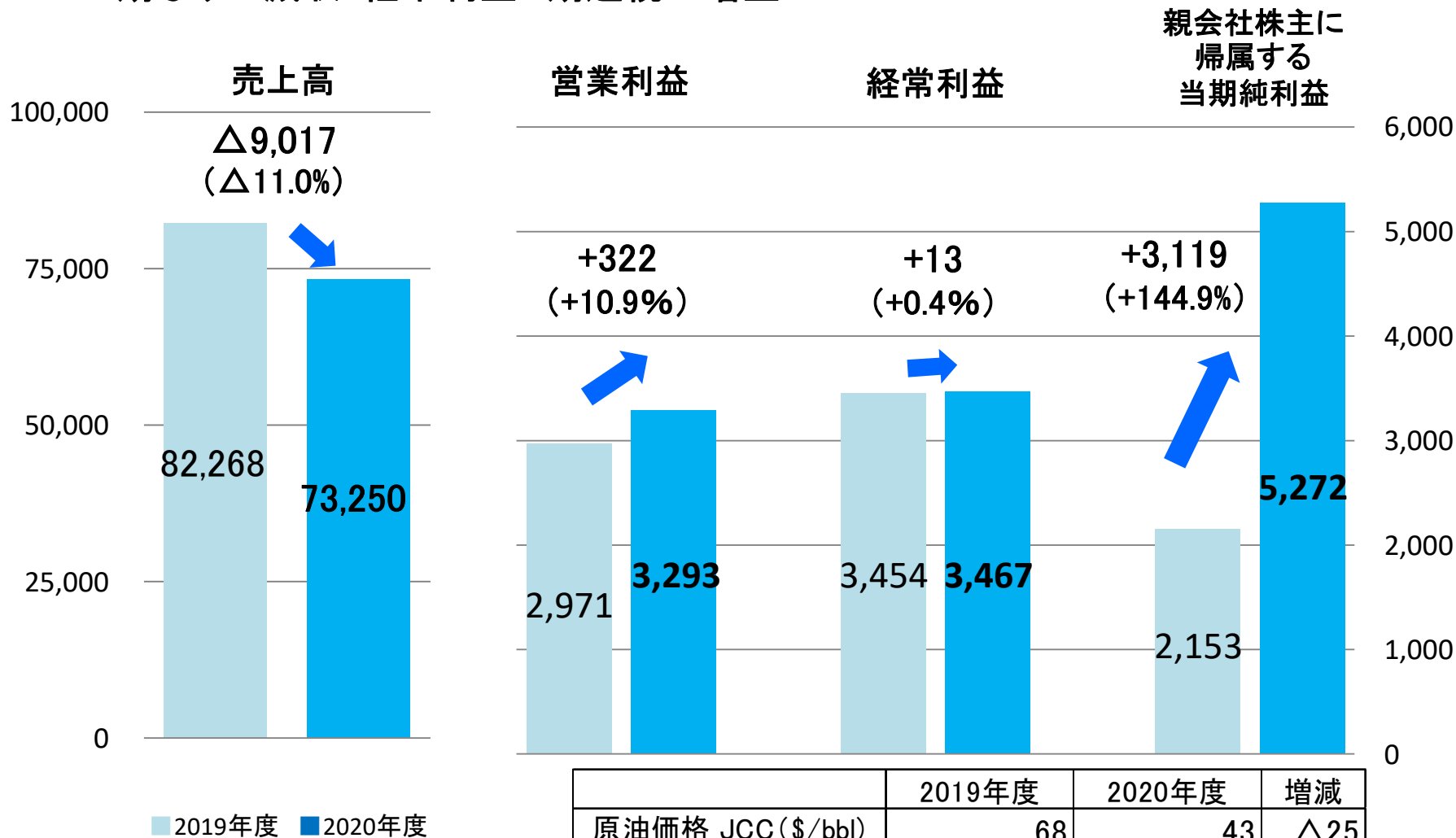
・既存卸先の顧客における稼働減の
影響等

(2) 2020年度 決算実績



(単位: 百万円)

■ 4期ぶりの減収・経常利益2期連続の増益



	2019年度	2020年度	増減
原油価格 JCC (\$/bbl)	68	43	△25
為替レート(円/\$)	109	106	△3

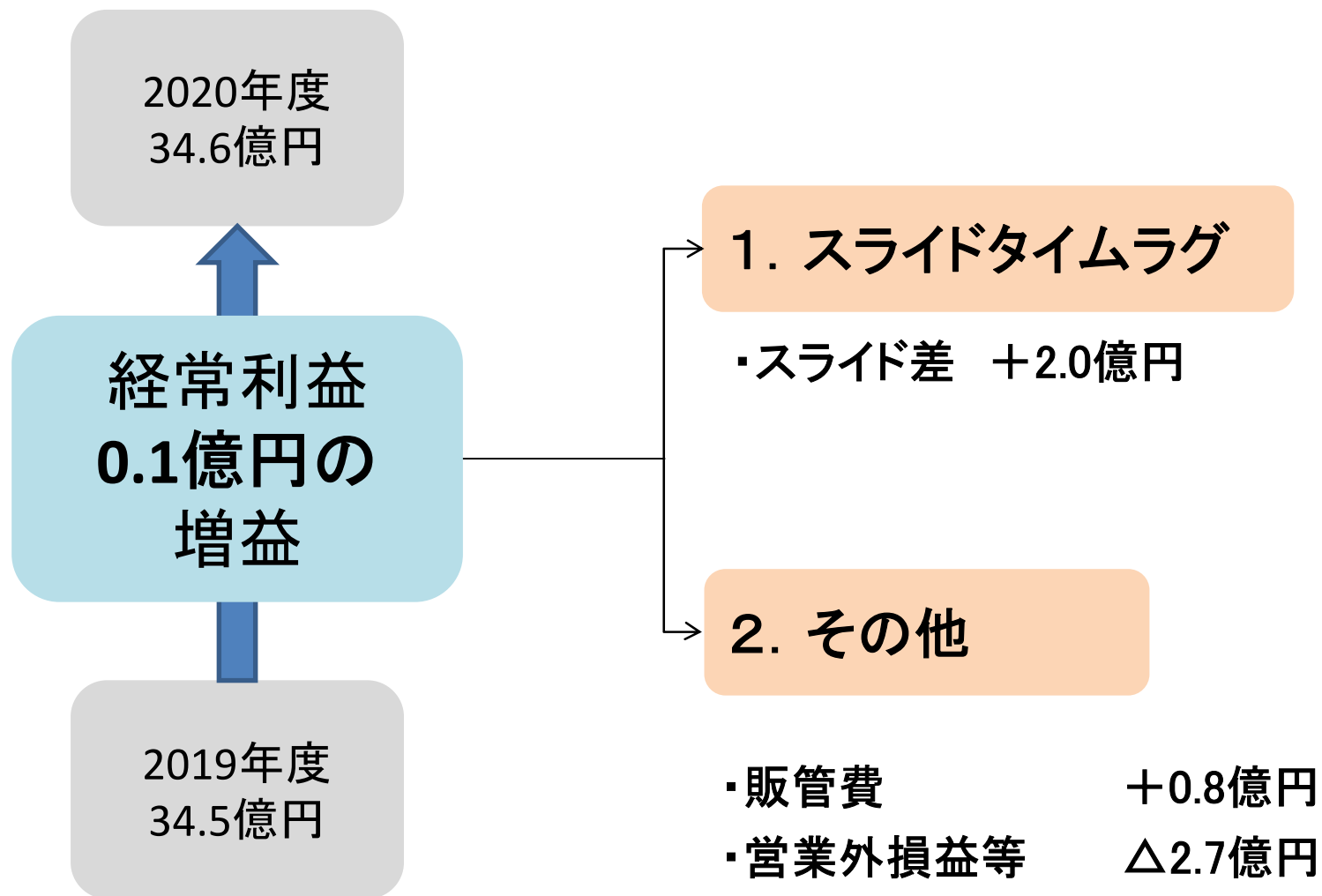
(注) JCC(=Japan Crude Cocktail) : 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格

(ご参考) 経常利益分析

(2) 2020年度 決算実績



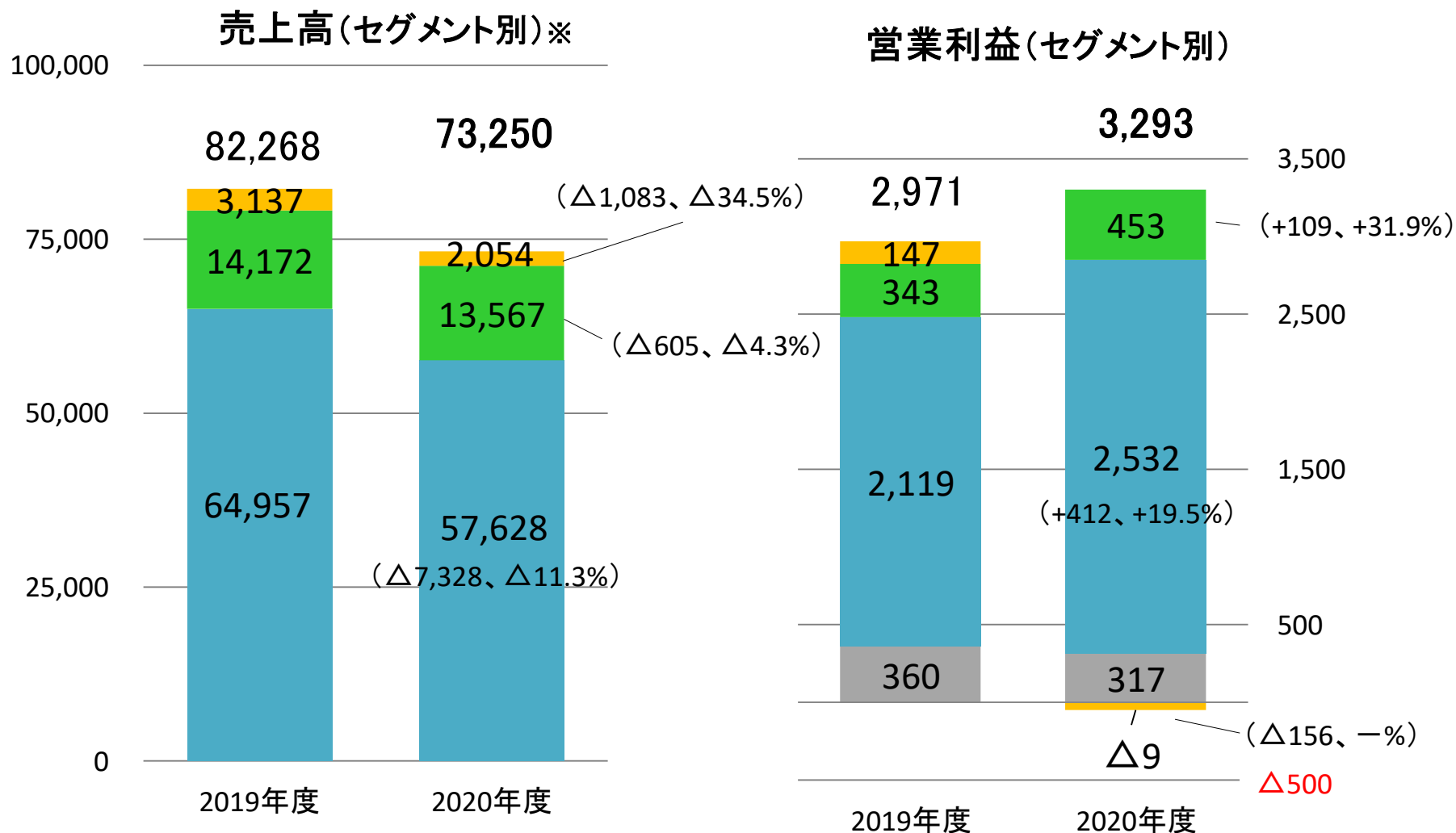
「+」「△」は利益に対する影響額を示す



(3) セグメント別 決算実績



(単位:百万円)



※外部顧客に対する売上高

■ガス ■LPG ■その他 ■調整額
() 前期比

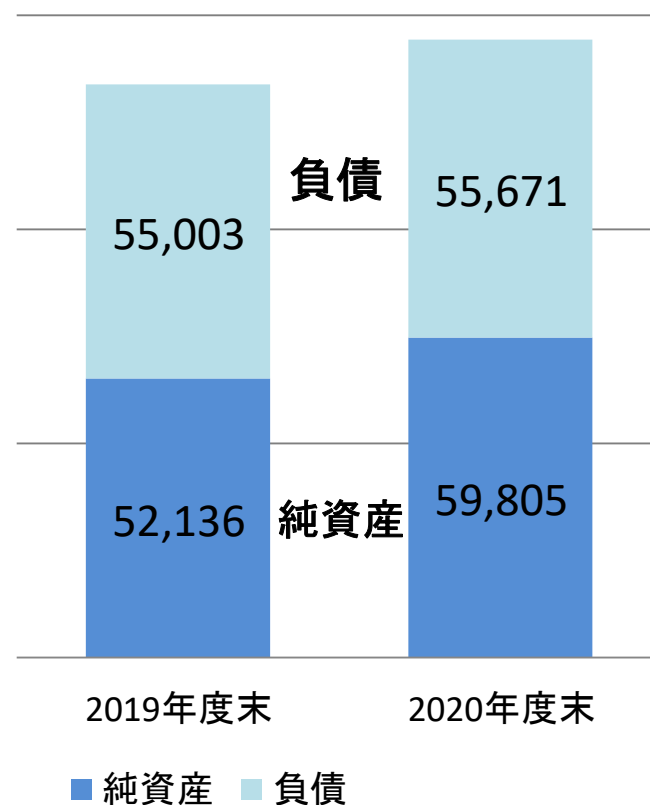
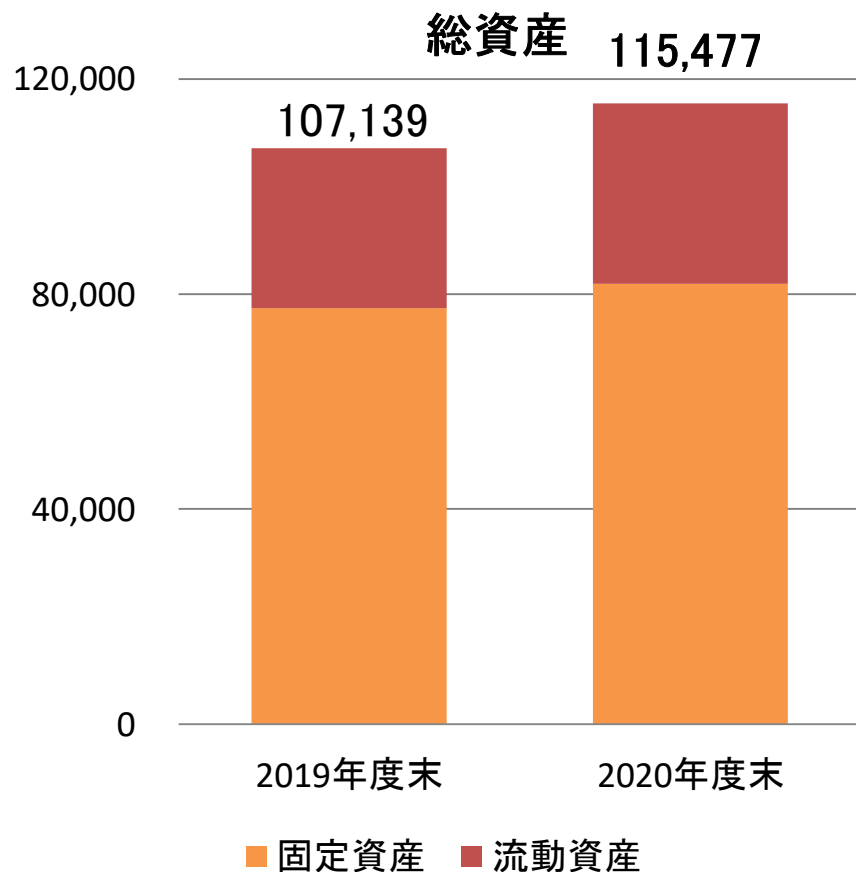
(4) ① 財政状況(貸借対照表)



(単位:百万円)

- 総資産:対前期末比 +8,337(+7.8%)
- 負債:対前期末比 +668(+1.2%)
- 純資産:対前期末比 +7,668(+14.7%)

- 自己資本比率
46.0% ⇒ 49.2%(+3.2ポイント)

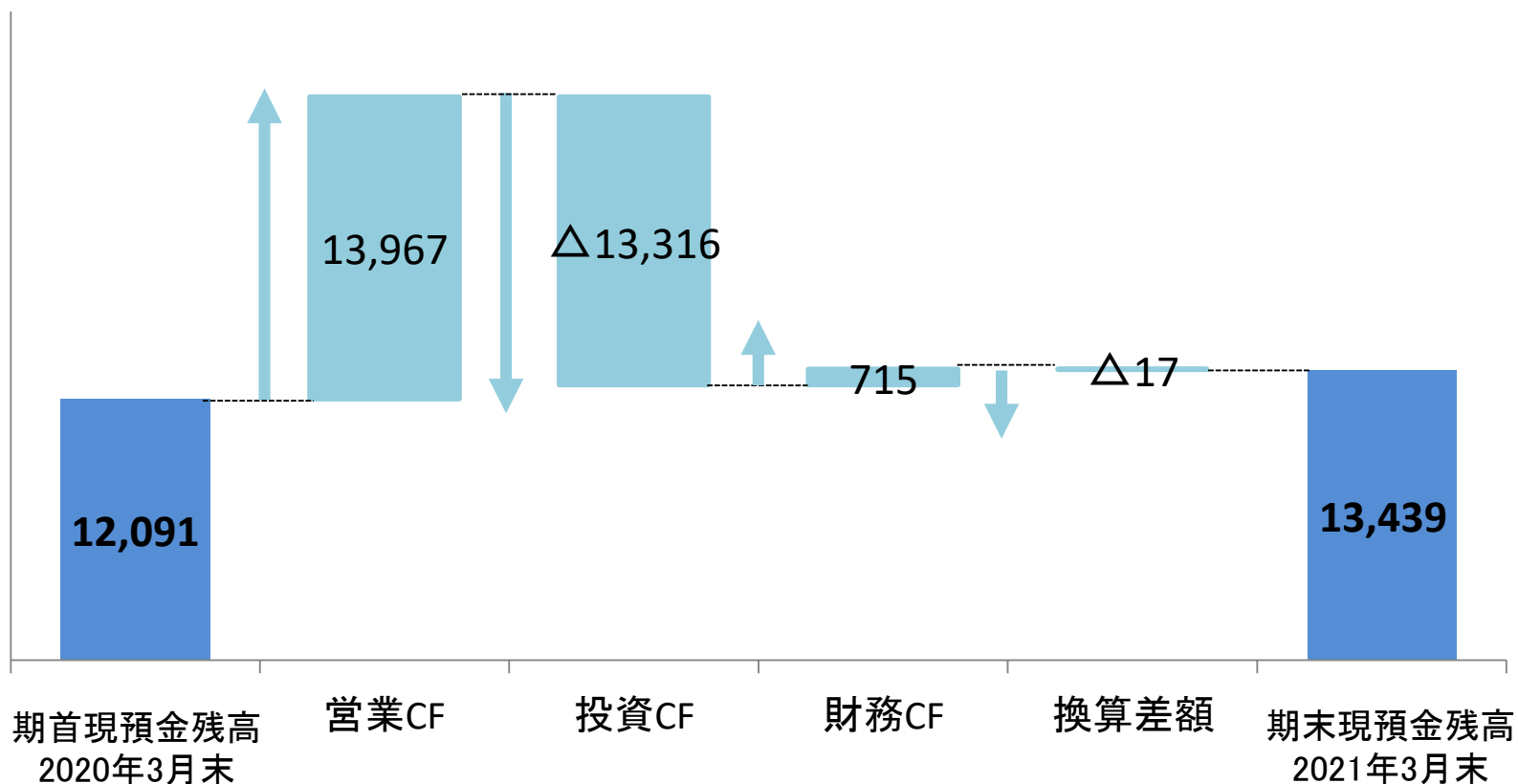


(4) ② 財政状況(キャッシュフロー)



(単位:百万円)

■ 現金及び現金同等物増加額 +1,348

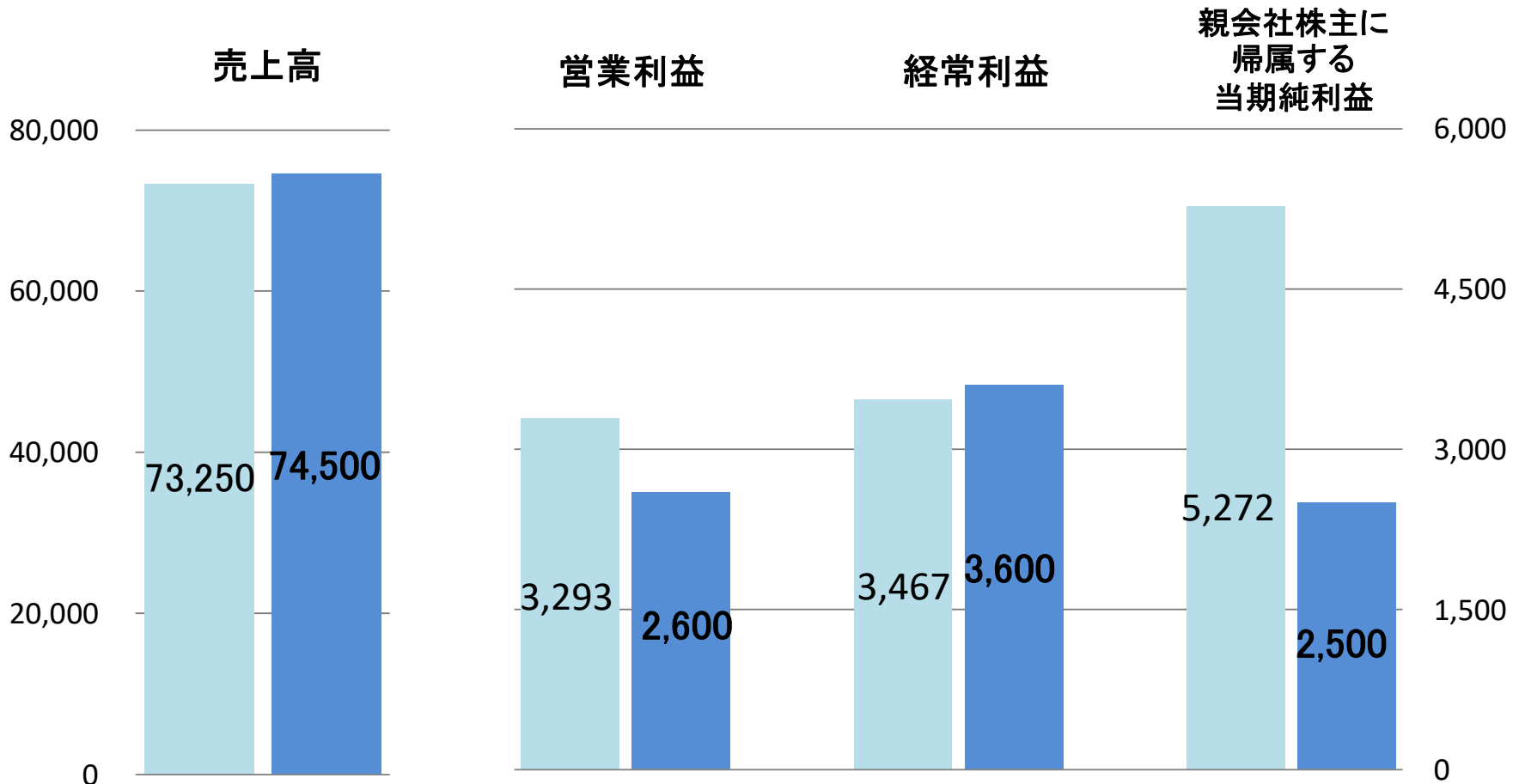


	2019年度	2020年度	増減
設備投資額	6,735	7,147	+412
減価償却費	7,344	7,360	+15

(5) 2021年度 業績見通し



(単位:百万円)



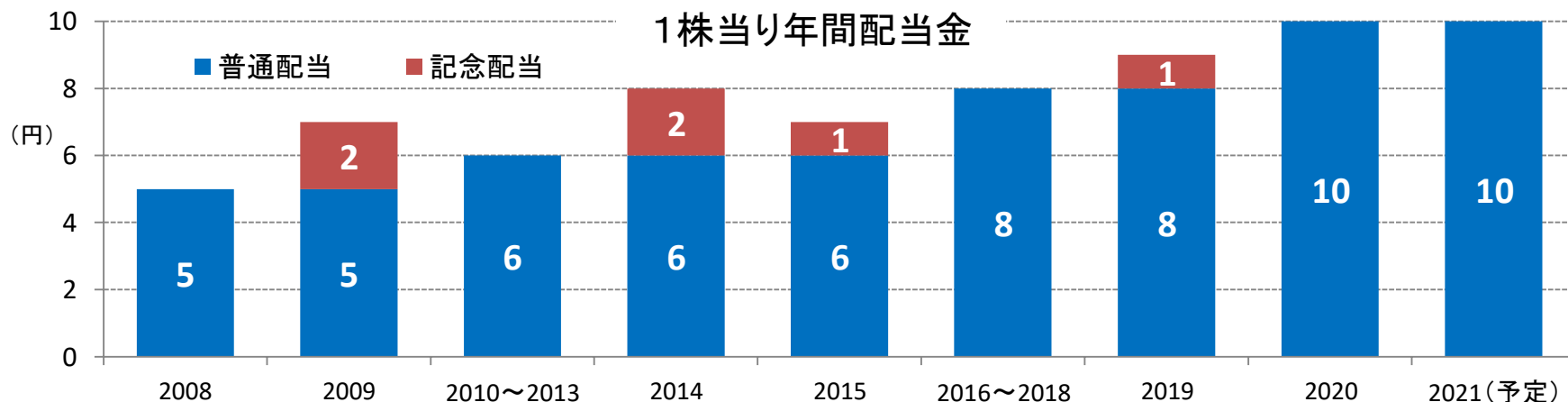
■ 2020年度実績 ■ 2021年度見込

	2020年度 実績	2021年度 見通し	増減
ROE (%)	9.9	4.6	△5.3
原油価格 JCC (\$/bbl)	43	60	+17
為替レート(円/\$)	106	110	+4

(6) 株主還元方針

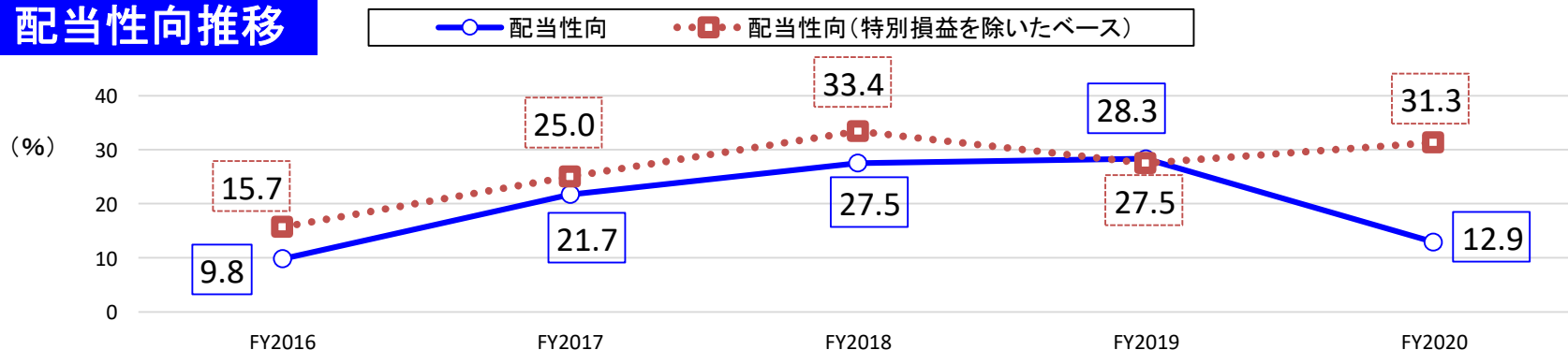


- ①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、
中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施
- ②短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を目指す



※ 2009年度は創立100周年、2014年度は東証一部指定、2015年度は天然ガス供給開始20周年、2019年度は創立110周年に対して、記念配当を実施。

配当性向推移



2. 広島ガスグループ2030年ビジョン

2. 広島ガスグループ2030年ビジョン



スローガン	幸せにつながる感動発信
基本方針	1. 経営施策を通じた感動追求
	2. エネルギーサービスを通じた感動追求
	3. 安心を通じた感動追求
	4. 人とのつながりを通じた感動追求
基本戦略 (チャレンジ)	1. 総合エネルギー事業の更なる拡大
	2. 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究
	3. デジタル技術の活用による高付加価値の創造
	4. グループ組織力の強化
	5. 安全安心の更なる追求
	6. 社会貢献活動の推進

経営理念： 地域社会から信頼される会社をめざす

2030年度経営目標

広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の
企業グループに成長する

2030年の目指す姿

(1) 販売量

	2020年度実績	2030年度
都市ガス事業	569百万m ³	750百万m ³
LPG事業	83千t	120千t

(2) 事業構成比

	2020年度実績	2030年度
都市ガス事業	79%	70%
LPG事業	18%	20%
その他事業	3%	10%

※構成比は事業の規模感を示し、売上高比率のイメージである。

2030年の目指す姿

(3) 経営指標

		2020年度実績	2030年度
収益性指標	ROA	4.7%	3.5%以上
	ROE	9.9%	8%以上
	EBITDA ^{※1}	106億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	49.2%	50%程度
株主還元	配当性向	12.9%	30%以上 ^{※2}

※1 EBITDA=営業利益+減価償却

※2 短期的な利益変動要因を除く

(4) 参考


12年間(2019年度～2030年度)で、1,300億円の投資を計画

3. 広島ガスグループ中期経営計画

3. 広島ガスグループ中期経営計画



需給計画	単位	2020年度 (実績)	2021年度	2022年度	2023年度	3年間 平均伸び率
都市ガス (卸供給含む)	百万m ³	569	551	536	499	△4.5%
L P G	千 t	83	90	91	94	4.1%

- ・都市ガス販売量は、大口需要家への供給量減少により、年4.5%減の見込み
 燃料転換などの新規開発、原単位向上に向けた新たな取り組み等により、販売量増加を目指していく。

設備投資計画	2020年度 (実績)	2021年度	2022年度	2023年度	3年間 合計
広島ガスグループ ^o	71億円	131億円	78億円	61億円	272億円

- ・天然ガスの普及拡大と供給安定性向上を目的とした幹線投資および
 その他事業の成長に資する新規事業投資等

- (1) 各種サービスの充実
- (2) 新規事業への取り組み
- (3) 広島ガスグループ
このまち思い SDGs 実行宣言
- (4) SDGs達成に向けた具体的取り組み
- (5) 「2050年カーボンニュートラル」への
取り組み

(1) 各種サービスの充実



会員制Webサービス ポイントサービスの導入



まちには人がいる
このまちの「ひと」思いサービス

- ・Web会員サイト
- ・ポイントサービス



まちにはくらしがある
このまちの「くらし」思いサービス

- ・生活関連サービス



2020年度に実施したサービス

料金サービス 「ガスファンヒーターはじめて割」

- ガスファンヒーター、ガスストーブを初めて使われるお客さまを対象に、冬期4カ月限定でガス料金を総額15%割引

2017年度から継続実施
2020年度に選択約款として固定メニュー化

「家庭用暖房契約」の対象機器に 「ガス衣類乾燥機」を追加

- 「家庭用暖房契約」の対象機器にガス衣類乾燥機を追加（毎月のご使用量が、冬期で50m³、その他期で25m³を超える部分が一般料金に比べお得に）

2020年8月受付開始

(2) 新規事業への取り組み



基本的な考え方

- ・第5次エネルギー基本計画を踏まえた脱炭素化社会への貢献に向けた事業の検討・実施
- ・省エネ・省CO₂の実現、地域活性化および地域貢献に資する事業の検討・実行
- ・新規事業の実施による新たな事業基盤および収益基盤を構築
- ・ESG経営、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた貢献

主な取り組み

項目	備考
①海田バイオマス混焼発電事業の実施	営業運転開始:2021年4月～
②北米発電事業への出資	出資:2020年6月
③小水力発電事業への参入	試運転開始:2020年12月 営業運転開始:2021年6月予定
④里山再生事業の実施	契約:2020年7月、9月
⑤広島空港民営化による新会社への出資	出資:2020年10月

(2) 新規事業への取り組み

①海田バイオマス混焼発電事業の実施



- ・2017年10月30日
海田バイオマスパワー(株)設立
- ・2021年4月1日に営業運転開始



会社名	海田バイオマスパワー株式会社	
所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号	
出資比率	広島ガス(50%)、中国電力(50%)	
発電所名	海田発電所	
発電設備	発電出力	約10万kW(送電端)
	発電方式	循環流動層ボイラ
	使用燃料	バイオマス(うち国内材は広島県内を中心に調達) 石炭、天然ガス(助燃・バックアップ用)

(2) 新規事業への取り組み

②北米発電事業への出資



- ・2020年6月、米国の天然ガス発電事業会社へ出資し、発電所の持分を5.6%保有
⇒東邦ガス、西部ガスと共同で設立した米国法人が、米国発電会社の33.3%の株式を保有する双日バーズボロー社の株式を50%取得
- ・当社にとって初となる海外投資案件であり、投資リターンによる収益向上とともに、事業への参画による経験を活かした新たな事業展開や人材育成といった効果を期待

<合併会社概要>

発電所	Birdsboro (バーズボロー) 発電所 ※所在地: 米国ペンシルベニア州
出力・燃料	48.8万kW、天然ガス
発電会社 出資者	Ares EIF社 1/3(33.33%) 東京ガス(株) 1/3(33.33%) 双日バーズボロー社 1/3(33.33%)
合併会社	TSH Birdsboro LLC (設立:2020年3月) ※双日バーズボロー社の株式50%保有
合併会社 出資者	当社 1/3(33.33%) ⇒2020年6月出資 東邦ガス 1/3(33.33%) 西部ガス 1/3(33.33%)

<バーズボロー発電所>



(2) 新規事業への取り組み

③小水力発電事業への参入

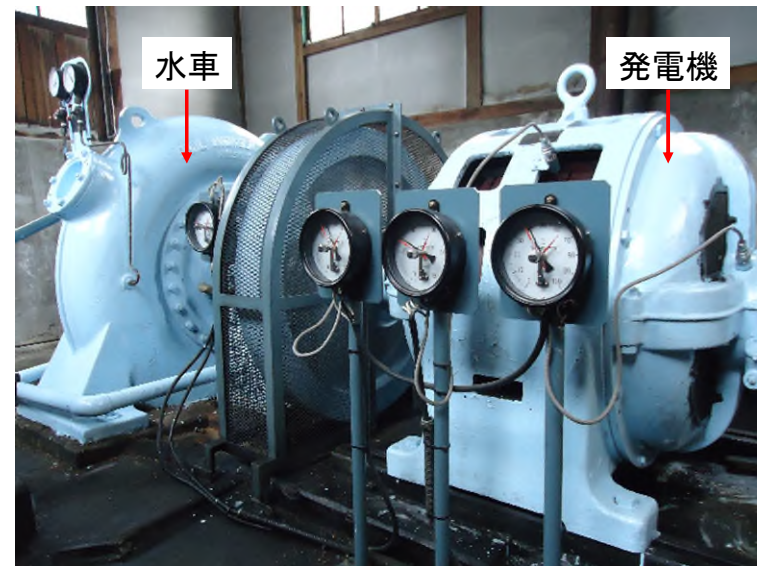


- ・故障停止中の発電所を取得し、修繕・再生することで小水力発電事業に参入
- ・CO₂を排出しないクリーン電源であり、地域に根差した地産地消型エネルギーの活用を通じ地域に貢献



<事業概要>

場所	・広島県東広島市志和町
運転開始日	・2020年12月から試運転開始 ・2021年6月から営業運転開始予定
最大出力	・95kW
水利用河川	・太田川水系三篠川支流関川



(2) 新規事業への取り組み

④ 里山再生事業の実施



- ・林野庁や森林組合等と連携し、放置された山林における立木の適切な伐採や、植林・保育による里山再生事業に着手
- ・里山再生および環境保全を目的とした協定を、広島県森林組合連合会と締結
- ・「里山の再生とCO₂削減への貢献」、「林業振興による中山間地域の活性化」、「木質チップのバイオマス燃料への利用」をを目指す



協定締結式 (2020/11/25)

<主な事業内容>

場所	(1) 広島県神石高原町星居山	(2) 広島県竹原市仁賀町
概要	国有林を対象に植林・保育し、成林時に分収割合により収益を分け合う	森林地を購入し、立木を伐採・販売後、植林・保育を行う
面積	約9 ha (マツダスタジアム1.8個分)	約10 ha (マツダスタジアム1.9個分)
契約時期	2020年7月	2020年9月



(2) 新規事業への取り組み

⑤ 広島空港民営化による新会社への出資



- ・国交省が募集していた広島空港の運営民間委託に応募し、当社が参画するコンソーシアムが優先交渉権を獲得(2020年9月)

* 参加企業 代表企業:三井不動産(株)、その他当社を含め15社
東急(株)、(株)広島銀行、ひろぎんキャピタルパートナーズ(株)、広島電鉄(株)、九州電力(株)、中国電力(株)、(株)中電工、(株)エネルギー・コミュニケーションズ、マツダ(株)、福山通運(株)、(株)広島マツダ、広島ガス(株)、住友商事(株)、東急建設(株)、(株)東急コミュニティー

* 空港運営事業開始 2021年7月～

- ・民間活力にて、さらなる空港振興を行うことで、地域の活性化および地域発展に貢献



(3) 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ①



2020年10月に「広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言」を策定

広島ガスグループ

このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

共通の目標

広島ガスグループ2030年ビジョン
あるべき姿の実現

国連が2030年までにゴールと定めた
SDGs

このまち思い SDGs 実行宣言

《4つの重点項目》

- ① エネルギーの普及拡大・安定供給
- ② 地域社会への貢献
- ③ 環境保全
- ④ 働きやすい社会のために



SDGs実行宣言 4つの重点項目

① エネルギーの普及拡大・安定供給



基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

② 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

③ 環境保全



環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や、森林保全活動の推進を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

④ 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

(4) SDGs達成に向けた具体的取り組み ①



① エネルギーの高効率利用促進

エネファーム(家庭用燃料電池)や業務用ガスコージェネレーションシステムなど、ガス体エネルギー機器の高効率利用を促進することによる、環境保全(環境負荷の低減)

家庭用



エネファーム

工業用・業務用



ガスコージェネレーションシステム

② 再生可能エネルギーの普及拡大

CO₂を排出しないクリーン電源の活用および地産地消型エネルギーの活用による、環境保全と地域への貢献

小水力発電事業への参入



海田バイオマス混燃発電事業



(4) SDGs達成に向けた具体的取り組み ②



③ 里山再生事業への着手

里山再生事業、林業振興による中山間地の活性化、木材チップのバイオマス燃料利用、憩いの場の提供などによる、環境保全と地域への貢献

里山再生事業への着手



このまち思い 広島ガスの森



④ 次世代教育の推進

未来を担う子どもたちの健やかな心身および豊かな感性・創造性の育成支援による、地域への貢献

出張授業、防災教室等の開催



このまち思い えがお食堂



⑤ スポーツ振興による地域貢献

地域住民の方々の心身の健康増進や住民間の絆づくりに役立つよう、スポーツ振興による、地域への貢献

バドミントン部



スキー部



(5) 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み



① ガス業界の取り組み

(一社)日本ガス協会が2020年11月に公表した「カーボンニュートラルチャレンジ2050」に沿って、ガス業界は2050年およびその先に向けて、以下の内容に取り組みます。

- ① 需要側の取り組みである「徹底した天然ガスシフト・天然ガス高度利用」による着実なCO₂削減(2050年までの累積CO₂を極力低減)
- ② メタネーションや水素利用等、供給側のイノベーションによる「ガス自体の脱炭素化」
- ③ 優れた国内技術の海外展開等の「海外貢献」による世界のCO₂削減への貢献や「CCUSに関する技術開発やその活用等」

カーボンニュートラル化の様々な手段

(1) ガス自体の脱炭素化

ガス自体の脱炭素化の主な手段	例
水素 (水素を直接利用)	・再エネ等を活用したCO ₂ フリー水素を利用 ・天然ガス改質 (CCS利用) 等による水素を利用
カーボンニュートラルメタン (水素をCO ₂ と合成)	・水素をバイオ由来や空気中のCO ₂ と合成 ・水素をLNG火力発電所等からのCO ₂ と合成
バイオガス	

(2) 脱炭素化に資する手立て

脱炭素化に資する主な手立て	例
天然ガス + CCUS	・天然ガスのサプライチェーン全体で排出されるCO ₂ をCCUS技術で相殺
カーボンニュートラルLNG	・天然ガスのサプライチェーン全体で排出されるCO ₂ をCO ₂ クレジットで相殺
海外貢献	・海外への都市ガスインフラ等の輸出による世界大でのCO ₂ 削減
DACCS	・大気中からのCO ₂ 回収・貯留
植林	・緑化活動によるCO ₂ 削減

(出所)一般社団法人 日本ガス協会
ガスの役割を果たすための取り組み資料から一部抜粋

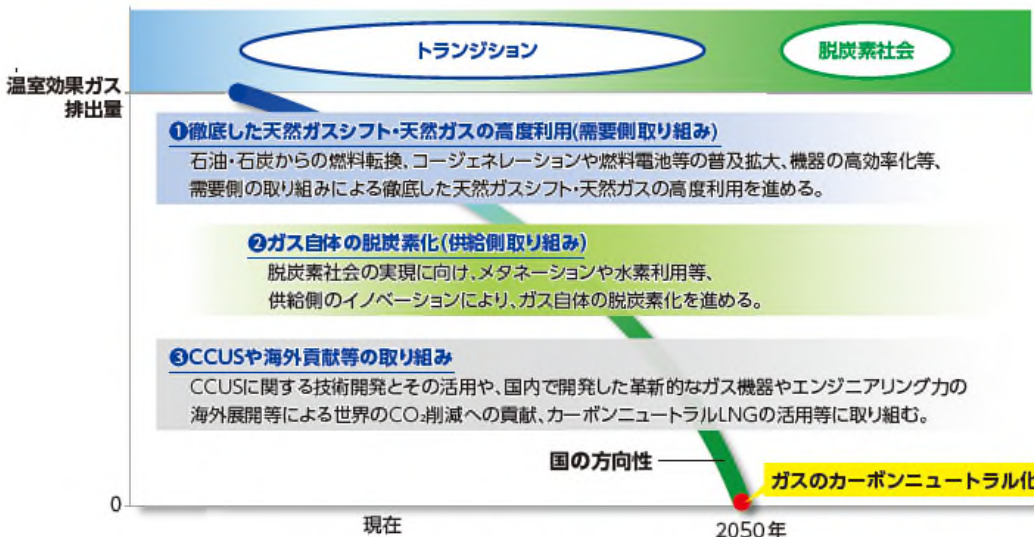


図 ガスのカーボンニュートラル化に向けたシナリオ

(5) 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み

② 広島ガスグループの取り組み



「2050年カーボンニュートラル」に向けた取り組み

- 当面の「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、まずは、2040年まで「累積CO₂削減」に向けて邁進
- 並行して、2050年に向けた「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じ、地域社会と共に発展する企業グループを目指す

「2050年カーボンニュートラル」への取り組みにあたり、広島ガスグループは、これまでESG関連事業（環境および社会・地域貢献への取り組み）を進めてまいりました。今後も、LPガス部門とも連携をとりながら、更なる取り組み領域の拡大を目指し、「脱炭素社会の実現に貢献」する事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成に向けて貢献してまいります。





本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(ご参考) 会社概要



- お客さま件数 41万5千件(2021年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

- 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,120,955株



>>> 供給区域と体制

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数
415千件



広島地区
お客さま戸数
352千戸



呉地区
お客さま戸数
46千戸



尾道・三原地区
お客さま戸数
17千戸



凡例		
供給区域 (広島地区)		ガスホルダー
供給区域 (呉地区)		ガス製造所
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地
幹線 (広島ガス)		検討中幹線
		幹線 (瀬戸内パイプライン)

(ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020
売上高	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250
営業利益	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293
経常利益	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467
当期純利益(※1)	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272
減価償却費	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360
営業キャッシュフロー(※2)	7,313	8,285	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732
設備投資額	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147
フリーキャッシュフロー(※3)	1,856	1,057	-3,004	4	887	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584
総資産	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717	104,935	107,139	115,477
自己資本(資本)	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769
有利子負債	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074
EBITDA	8,569	9,290	9,342	11,036	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654
ROA(%) (※4)	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7
ROE(%) (※4)	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9
自己資本比率(%)	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2
EPS(円)	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5
BPS(円)	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4
配当性向(%)	389.6	19.3	18.0	17.3	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9
D/E レシオ	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7

※1 FY2015より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2016、FY2017、FY2019、FY2020はキャッシュを伴わない特別損益を加減

<FY2016>債務免除益2,105百万円 <FY2017>退職給付制度改定益449百万円 <FY2019>投資有価証券評価損△66百万円

<FY2020>受取補償金 4,400百万円、減損損失△98百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

(ご参考)販売量データ



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

		FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020
家庭用	販売量(百万m3)	107	105	103	103	100	99	104	98	97	103
	対前年比(%)	-0.5	-2.0	-2.2	0.7	-3.5	-0.9	4.8	-5.2	-1.5	6.9
商業用	販売量(百万m3)	49	48	47	45	43	44	45	43	43	35
	対前年比(%)	-4.8	-2.1	-1.1	-4.9	-3.3	1.9	2.5	-4.0	-1.3	-18.3
工業用	販売量(百万m3)	273	262	258	242	242	255	271	326	313	304
	対前年比(%)	-0.6	-4.2	-1.3	-6.4	-0.0	5.4	6.3	20.3	-3.9	-3.0
その他用	販売量(百万m3)	37	37	38	37	36	38	38	36	35	35
	対前年比(%)	-3.7	-0.1	2.7	-4.2	-2.7	5.8	1.5	-5.6	-3.7	1.5
卸供給	販売量(百万m3)	55	60	61	62	60	56	58	77	106	90
	対前年比(%)	1.5	8.1	1.9	2.7	-3.9	-5.9	3.6	30.9	38.1	-15.3
合計	販売量(百万m3)	524	513	509	491	483	494	519	583	596	569
	対前年比(%)	-1.0	-2.0	-0.8	-3.5	-1.8	2.4	5.0	12.3	2.3	-4.4